

アッヴィ、地域社会での支援活動を実施

July 07, 2016

アッヴィ、地域社会での支援活動を実施

- 今年で3回目となるボランティア週間Week of Possibilitiesにて、50カ国超のアッヴィ従業員5,500名が、自宅や職場近くの地域における実地活動プロジェクトに参加し、25,000時間超をボランティア活動に提供
- 本年の活動対象は、学校や図書館、母子保護施設、公民館など
- 日本では、昨年に引き続き都内の児童養護施設を訪問し、50名近い従業員ボランティアが子どもたち約60名と「アッヴィ科学教室」を実施

グローバルなバイオ医薬品企業のアッヴィは、6月20日（月）～24日（金）、協力団体と提携し、第3回年次ボランティア週間Week of Possibilitiesを開催しました。5,500名を超える従業員が、自宅や職場のある地域で計25,000時間超をボランティア活動に提供し、各地での支援活動に従事しました。

アッヴィは、Week of Possibilitiesの活動プロジェクトを全世界で計画・実施にするにあたり、主要なボランティア団体の協力を得ています。今年のプログラムには、子どもの教育環境の改善に重点を置いた、50カ国超の国々での実践的な活動プロジェクトが含まれます。

「Week of Possibilitiesでは、全世界のアッヴィ社員が、力強い教育システムの構築を中心に地域社会のために一体となって活動しました。」と、アッヴィのvice president of corporate responsibility, brand and communicationsを務めるTracie Haasは述べています。「光栄なことに、米国内外の主な団体の協力を得ることができ、地域の非営利団体パートナーと力を合わせて、各地での課題に取り組みました。」

2014年にWeek of Possibilitiesを開始した際は、大半のプロジェクトをアッヴィ本社のあるイリノイ州ノースシカゴで実施しました。2015年にはその範囲を広げ、世界45カ国の従業員が、地域で活動している非営利団体と協力し、17,000時間を超えるボランティア活動を実施しました。

構想はさらに広がり、2016年にはアッヴィおよびアッヴィ財団の支援のもと、Week of Possibilitiesプロジェクトが世界中で実施され、アッヴィの従業員がボランティア活動を実施しました。

活動プロジェクトの例：

- 日本では、アッヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアーノ）の50名近い従業員ボランティアが、6月21日（火）～23日（木）の3日間にわたって都内の児童養護施設を訪問し、各養護施設に暮らす小・中学生約60名とともに、アッヴィ財団のSEEK [Science Engineering Exploration Knowledge (科学・工学・探求・知識)] 科学教室に参加しました。SEEK科学教室は、主に7歳から11歳の生徒を対象に、科学的発見のプロセスを体験してもらうことを目的とする、新しいグローバル科学教育プログラムです。子どもたちは、ボランティアの手助けのもとで、「謎の液体」「色の爆発」実験に参加しました。また、アッヴィ合同会社で働く科学者が、自分が小さいころ科学に興味を持ったきっかけや、研究内容をわかりやすく子どもたちに紹介し、夢と情熱を持ち続けることの大切さを伝えました。



- アッヴィが本社を置くイリノイ州レイク郡では、ノースシカゴおよびウォーキーガンにある6つの学校の教室や運動場、遊び場を整備しました。また、退役軍人の家をリフォームし、住民の皆さんに新しい家の鍵を渡すセレモニーを開きました。コール子ども博物館のサポートチームは、近所に美術館や博物館がない子供たちのために出張博物館を提供しました。ノースシカゴでも、幼稚園児からサマースクールに通う5年生までの子供たち約150人を対象に、1日科学教室を開きました。
- カリフォルニア州のメンロパークおよびサンノゼ、またマサチューセッツ州ウースターでは、設備が不十分な3つの学校の図書館を改装しました。デザインやレイアウトを改善し、新しい備品やコンピューター、書籍を提供し、子供たちに貸し出す本を準備しました。
- 世界50カ国超で、アッヴィのボランティアが学校を元気にし、子供向けの科学教室を開きます。生活に困っている人たちのための食糧供給所で配膳を手伝い、また難民の家族の皆さんと一緒に午後を過ごし、地域の文化になじめるようサポートしました。

アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリックス社を含めて世界で28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コメントに関する詳細はwww.abbvie.comをご覧ください。よろしければTwitterアカウント@AbbVieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の約1,000人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jpをご覧ください。

アッヴィ財団について

アッヴィ財団は、米国の501(c)(3)団体に該当する非営利団体です。強固なコミュニティ、持続可能な医療システム、効果的な教育プログラムの構築を通して、十分なサービスを受けていない世界の人々の生活に大きな影響を及ぼす活動を行っています。詳しくは、www.abbviefoundation.orgをご覧ください。